

たこくせきけんみん

多国籍県民

フォーラム2004

～情報・Information・情報～

ほうこくしょ

報告書

ねん がつ

2005年3月

ざいだんほうじんさいたまけんこくさいこうりゅうきょうかい

財団法人埼玉県国際交流協会



もく じ
目 次

かいさいしゆし 開催趣旨	1
プログラム	2
こうえんようし 講演要旨	3
げんごべつはなしあい 言語別話合い	5
さんかしゃ 参加者アンケート結果	19
とうじつじゃしん 当日写真	22
うんえい 運営スタッフ・事務局	24



～多国籍県民フォーラム2004を開催して～

埼玉県内に在住している外国人の数は年々増加しており、2003年12月末現在の登録数は100,955人と過去最高に達し、埼玉県全体の人口に占める割合は1%を超えました。

それに伴い、外国人の滞在目的は、仕事のため、日本人と結婚しているため、留学や研修と多岐にわたっています。長期に滞在される方が増えているのも最近の特徴といえます。

言葉や習慣がわからず、親しい知り合いもない国で暮らすことの大変さは想像に難くありません。今年で3回目を迎えるこのフォーラムは、そのような在住外国人同士が情報交換をすることで、日本に住む外国人が抱える問題を共有し、地域において、在住外国人支援の核となる人材のネットワーク化を促進しようと、外国籍県民や地域で活動するNGO等を対象にスタートしました。回を重ねるなかで、外国籍県民が抱える問題に興味を持つ多くの日本人にも参加していただくことができ、お互いが隣人同士として助け合うことができないかを考える貴重な場にもなりました。

今年60名(外国籍40人、日本人20人)もの方にご参加いただいて、外国籍県民への有効な情報提供に特化した、身近な情報源としての外国人向け情報紙のあり方について話し合いました。県内でも、外国人向けの情報紙が市町村やNGOによって発行されていますが、より良いものにしていくには外国籍県民の声を聞き、その声を紙面に反映させていくことが不可欠です。また、日ごろ情報弱者になってしまいがちな外国籍県民も、決して受身にならず、自らが声をあげていくことで必要な情報が手に入りやすくなるでしょう。今回のフォーラムは、日ごろ会って話すことのない、作り手と読者を結ぶ貴重な機会となりました。また、これから外国人向けの情報紙製作にかかわってみたいと思う人々にとっても多くの示唆を与える機会となったのではないのでしょうか。

今回、外国籍県民から出された数々の意見が少しでも多く外国人向け情報紙作りに生かされ、より役に立つ情報紙が外国籍県民のみなさんのお手元に届くことを願ってやみません。

たこくせきけんみん

多国籍県民フォーラム

2004

「情報・Information・情報」

とき : 2004年12月4日(土) 午後1時~午後4時
ところ : 浦和地方庁舎 5階 講堂

ほんじつ よてい
本日の予定

[13:00 - 13:10] 開会あいさつ・スケジュールの説明

[13:10 - 14:00] 講演 遠藤美麗さん

[14:00 - 14:05] スタッフ紹介

[14:05 - 14:10] 休憩

[14:10 - 15:20] 言語グループ別話し合い

[15:20 - 15:50] まとめ

*各グループで出た意見を発表してもらい、参加者全員で共有します。

[15:50 - 16:00] アンケートの記入・閉会

おつかれさまでした

しゅさい さいたまけんこくさいこうりゅうきょうかい
【主催】財団法人埼玉県国際交流協会

<http://www.saitama-j.or.jp/sia>

およ かくげんご ほんやく ようい
プログラム及びアンケートは、各言語に翻訳したものを用意しました。

~ 講演要旨 ~

遠藤 美麗 (財団法人横浜市国際交流協会)

台湾に留学していた主人と知り合い1978年に来日しました。来日当初はまったく日本語ができなかったため、とても苦労しました。聞いてもわからない、言いたいことも伝えられない。それでも、日本人と同じように生活の情報が必要でした。情報があることで、安心して毎日楽しく過ごせると思ったからです。

例えば、駅ではアナウンスがいろいろと流れても私にはわからないので不安でした。次の電車はどこ行きなのか、電車がなぜ遅れているのか、私にはわからないのです。また、初めての子どもが生まれてとても不安な中、病院に行ってもアナウンスが日本語なため、自分だけが理解できない。アナウンスの放送には恐怖感がありました。それで日本語を勉強したいと思いました。当時はあまり日本語講座がなかったので、ずいぶん探しましたが、神奈川県国際交流協会で日本語教室を開いていることがわかり、計7年間くらい通いました。当時はこういった情報もどこで手に入るかわかりませんでした。

その後、機会があって横浜市の相談窓口の通訳として働くことになりました。また、その後、神奈川県労働センターで外国人の労働相談の通訳を担当することになりました。当時、行政の情報提供は充分ではなく、外国人は必要な情報を得るのにとっても苦労していました。あちこちに直接電話して聞いたり、自分もわからないときは一緒に学校へ行ったり、病院に行ったりしました。

また、横浜市国際交流協会(YOKE)で友人がボランティアをしていた関係で、自分もそこでボランティアをすることになりました。医療通訳ボランティア、学校のボランティアをして9年になりますが、特に医療通訳は、自分が出産したときの不安な気持ちを思い出すと、「困っている人の役に立ちたい」という気持ちになります。そんな関係でYOKEの「かわらばん」という情報紙の編集にも関わりました。「語学教えます」、「交流しましょう」などの情報交換を掲載していました。また、読者からのリクエストに沿って、掲載するテーマを決めたりしていました。今は財政の都合でなくなってしまいましたが、とても良い情報紙でした。しかし、その情報紙は英語と日本語の併記のものしかなかったのです。英語のできる人は恵まれているなあ、と思ったものです。

昔の情報紙は固有名詞も、すべて訳してしまうなど、困ったこともありました。それでは日本人にその情報紙を見せながら、質問をする場合、通じなくなってしまうのです。そこで、担当者に翻訳のしかたを提案するなど、厳しい意見を言いました。担当の人には嫌がられたと思いますが、せめて読んだ人が目的地へ行けるものを作る。せっかくお金をかけているのだから使えるものをつくってほしいと強く思います。

現在関わっている「YOKOHAMA YOKOHAMA」を発行するきっかけになったのは多言語情報提供研究会という YOKE の担当者が立ち上げてくれた会でした。県の国際交流担当、市の広報担当、YOKE のスタッフと国際交流ラウンジのメンバーも参加し、外国人に必要な情報や適切な翻訳のしかたを話し合う会議を行いました。外国の人が必要とする情報はだいたい同じでしたが、翻訳のしかたについては、言語によってそれぞれなので、言語の持っている性格を生かし、言語別のチームで情報紙をつくることになりました。現在、中国語版はネイティブ2人、日本人1人の3人で担当しています。

区役所に置いてあるほかに、インターネットで見ることや、FAX で取り寄せることもできます。また、学校にも送っています。読者の対象を絞るのは難しいです。企業で働く人、留学生、就学生、主婦、誰に対象を絞るのか、それによって必要な情報が違ってきます。また、来日してからの経過年数によっても違ってきます。どんなことを載せたらよいか、窓口相談に来る人にさりげなく「要望はないですか」と聞いてみましたが、みんな遠慮して言うてくれなかったり、「中国にも台湾にもそういう情報紙はないからわかりません」と言われたりしました。最初のうちは「意見があったらどんどん言ってください」とお願いしていましたが、なかなか難しいです。緊張感を保つため、いいところではばかりでなく、悪いところを知りたいし、もっと批判されたいのです。発刊して半年のころに、モニターにアンケートをとったことがあったのですが、これからまた読者モニターの制度を立ち上げようと準備をしています。

情報は量ではなく、その内容です。役に立つ情報が伝えられることで、安心して生活を送るには情報の量ではなく質にかかっているのです。日本語がわかるから外国語の情報が必要ないという外国人はそれでいいのです。でも、実際、必要としている人もいます。私は、今では日本語がわかるので苦労はしなくなりましたが、日本語がわからなかったころの気持ちも忘れてしまいがちです。いつも初心を忘れないでいようと思っています。

げんご べつはな あ 言語グループ別話し合い まとめ

この話し合いでは、

情報が欲しかったのにえられずに困ったこと

情報があって助かったこと

普段、どこで主に情報をえているか

普段、情報紙を読むかどうか。また、その理由

すべての人が読みやすい標記のしかた、ことばのつかいかた

の5つのトピックを用意し、ファシリテーターを中心として、この中から興味のあるトピックを自由に選んで話し合ってもらいました。

その際、外国籍の方々が母国語で話せるよう、その言語を話さない日本人参加者には通訳ボランティアを配置しました。

言語別のグループにすることで、その言語を話す人たち特有の問題や要望も浮かび上がってきたのではないのでしょうか。

にほんご
日本語グループ

ファシリテーター	おしま さわこ 尾嶋 佐和子 (埼玉県国際交流協会国際交流推進員)	さんかしゃすう 参加者数	11人
しよき 書記	まゆずみ あきこ 黛 亜希子 (埼玉県国際交流協会)		
サブテーマ	はな あ ようし 話し合いの要旨		
じょうほう 情報が欲しかった のに得られず困っ たこと	<ul style="list-style-type: none"> ・(15年前には)電車の路線図等ガイドブックがなくて困った。 ・レストランで食事をする時メニューがわからない。 ・選挙権がないので、政治に関する情報がなかなか入ってこない。 ・就職についての情報があまり入ってこない。 ・「帰化」など法律的、専門用語が理解できない。 ・日本語は大学の留学生センターやボランティアの方に教えてもらったが、外国人登録や健康保険については複雑で分からなかった。 ・税金(所得税の源泉徴収)について仕組みがわからない ・病院に行ったとき、治療の内容について、何をされているのか不安だった。 ・国際結婚(子どもの国籍など)に関する情報がほしい。 ・国際結婚についてはケースバイケースなので、相談窓口で直接聞くのが一番良いと思う。 		
ほけん 保険について	<ul style="list-style-type: none"> ・生命保険については、入らないといけないのかわからずわからない。 ・(15年前)学校から紹介されて強制的に保険に入っていた。 ・留学生などは保険に入っていない人が多い。 ・留学生が学費のために働いているのに、保険料を10万円程取られて困っている。払わなくてよい方法を知りたい。 ・保険に入っていなかったが、必要になり病院に行った。あとから1年分の保険料を支払った。 ・留学生が保険料を払うのは大変。適切な情報がないのは問題ではないか。 ・所得に対しての保険料や税金の関係について詳しい情報が欲しい。 		
じょうほう 情報があって助か ったこと。(どんな じょうほう やく た 情報が役に立ちま すか?)	<ul style="list-style-type: none"> ・「メトロポリス」(無料英語情報紙、主に都内の情報が掲載されている)からのイベント情報が役に立った。 ・ラジオの外国語放送は日本人のためなのか。母国の人にはあまり聞かない。 ・インターネットからの情報を得ている。 ・大学の留学生センターからの日本語教室の情報。 ・奨学金の情報。 ・外国人は用事がない時はあまり区役所には行かない。抵抗がある。図書館や学校 		

	<p>で情報を得ることが多い。</p> <ul style="list-style-type: none"> 日本語教室で情報を提供してくれる。 図書館では新聞、雑誌、インターネットのほか、窓口でも対応している。英語、中国語、ハンゲルの人が多いが、必要なものは調べたり、取り寄せたりするので、他の言語の人でも来て欲しい。 ショッパー、リビング等のタウン誌はポストに入れてくれるので助かる。 駅の情報コーナーなら多くの人利用するのでいいのではないかな。 駅に情報センター（連絡所）を設け、情報紙を配っている市もある。
<p>読みやすい標記のしかた、言葉の使いかた</p>	<ul style="list-style-type: none"> カタカナを中国語にする際、全部当て字にすることは無い。ローマ字なら中国人も読める。 固有名詞はハンゲルで音どおりに書くほうが良い。ローマ字は読める。 固有名詞は訳すと、道をたずねる際など日本人にも分からなくなってしまうので、ひらがなとローマ字の併記が良いのではないかな。 長い固有名詞は覚えにくいけど、略さないほうがよい。

英語グループ

ファシリテーター	マーラ ダッタ(さいたま市国際交流員)		
しよき 書記	ステファニー シャッケンブロック(川口市国際交流員)	さんかしゃすう 参加者数	12人
サブテーマ	はな あ ようし 話し合いの要旨		
<p>情報が欲しかったのに得られず困ったこと</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・JET(Japan Exchange and Teaching Programの略、語学指導等を行う外国青年招致事業)のALT(Assistant Language Teacherの略、語学指導助手)なので、日本に来る前にJETから日本について詳しい情報を得ていたため、問題がなかった。今の主な心配ごととはAMDA(NPO法人AMDA国際医療情報センター、電話で各国語により、言葉の通じる医療機関の紹介や医療福祉制度など医療情報の提供を行っている)が案内してくれた医師の中で、どの医師が良いのか判断できないこと。 ・日本人の友達が銀行の口座を開いてくれたが、「ここにサインをするように」と言われただけで、それ以上の説明を英語でしてくれなかった。銀行口座の開き方について英語での情報が一番欲しい。 ・妻が日本人なので、銀行の口座を開いてくれたので困らなかった。 ・埼玉県の病院へ行った時には誰も英語を理解しなかった。しかし、北浦和の病院では英語を理解してくれた。 ・駅での路線図は漢字で書いてあるので、読むことができない。いつも、料金を精算する。 ・日本では英語を理解できる人がいても、英語で案内してくれる人は少ない。大都市では英語での表示があるが、田舎では少ない。以前、鎌倉に行った時、英語での情報がなかったため、道に迷い、千葉に行ってしまった。いい経験だった。 ・旅行のための英語の情報が少ない。 		
<p>情報があって助かったこと(どんな情報が役に立ちますか?)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・JETプログラムで日本に来た時にももらったJETダイアリーは便利。路線図などの役に立つ情報が入っている。そして、日本に来る前に日本語の講座を受けることができた。今までもJETは色々なイベントをやってくれたり、出版物を送ってくれたりする。 ・JETの埼玉県のアドバイザーは5人いる。このアドバイザーたちは毎年カウンセリングの研修を受けるので、JETの参加者たちはこのアドバイザーたちからサポートや情報を得ることができる。県のアドバイザーはCLAIR(自治体国際化協会)に所属している。参加者は何か問題が起こったら、直接CLAIRにサポートをお願いすることができる。 ・外国人にとって、イスラエルより日本のほうが英語での表示が多いので、住みやすい。 		

<p>ふだん ちいき の 情報紙を読むかど うか。また、その りゆう 理由</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ イベントなどについて知るために「メトロポリス」という雑誌を読んでいる。 ・ 普段情報を得るためにインターネットで調べている。情報紙なども役に立っている。 ・ 埼玉の寮に住んでいた時に情報紙が置いてあった。
<p>ふだん おも 普段、どこで主に ひつよう じょうほう え 必要な情報を得 ているか</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 駅の近くに置いておけばいいと思う。普段通る道に置いてなければ、取りには行かない。 ・ 秋田では英語の情報が多くあった。 ・ 県のウェブサイトの内容の中には英語で書かれている部分もある。埼玉県の JET ウェブサイトは役に立つ。 ・ 図書館や役所などに、仕事を探したり日本語を習ったりするための情報があるとよい。 ・ せっかく色々な国の言葉で書かれている情報があるのにその言葉が話せる人がいないために活用されていない。 ・ 毎週月曜日から金曜日まで「ぶらっとサロン」(さいたま市)という国際交流相談コーナーがある。外国人にイベント、バスツアー、着物の着付け、相談、医療、公民館、保険、スポーツセンターなどについての情報がある。
<p>よ ひょうき 読みやすい標記 のしかた、言葉の つか かた 使い方</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 場所や建物の名前などは英語に翻訳しなくてよい。日本人に道を聞くときに英語は通じない。場所の名前をローマ字で書けばよい。 ・ カタカナの英語が分からない。英語のようであっても英語ではない。
<p>た その他</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 日本人が英語を話すことができないのは教育システムのせい。 ・ 日本人は恥ずかしがりやなので、英語で話したがらない。基本的に日本人は親切だが、外国人と関わることに慣れていない。私の場合は国際関係の仕事をしていたので、慣れることができた。 ・ 海外旅行をしたことがない日本人は日本にいる外国人の気持ちが分からない。 ・ アジア人の友達は日本の男性と結婚していて、私にいつも家族の中でのご主人の役割について文句を言う。外国に住んでいる時はその国のご主人と同じように家事を手伝ってくれたが日本に戻ってくると日本のご主人のように手伝わなくなってきたそうだ。

ちゅうごくご
中国語グループ 1

ファシリテーター	こばやし らん 小林 蘭 (ボランティア)	さんかしゃすう 参加者数	にん 8人
しよき 書記	しゅう きょうしん 周 暁莘 (上尾市国際交流員)		
サブテーマ	はな あ ようし 話し合いの要旨		
じょうほう ほ 情報が欲しかった のに得られず困っ たこと	<ul style="list-style-type: none"> ことし らいにち ねんめ はじ にほん きた とし こま 今年で来日16年目ですが、初めて日本に来た時、困ったことがいっぱい あった。とにかく情報をどこで入手するのがよく分からない。 へんしゅうがわ がいにく ごじょうほうし じょうほう ほ ひと てもと とど 編集側にとって、外国語情報紙を情報が欲しい人の手元に届けること が一番大切だ。 けんせい さんか きょうせいがわ がいにくじん じょうほう 県政モニターに参加してから、行政側が外国人のためにいろいろ情報 提供しているのは分かったが、手元に届く情報量は少なかったと感じ た。 かん じょうほう ほ らいにち こ しゅみ イベントに関する情報が欲しい。そして、来日したばかりの子ども趣味 教室について、中国語を話せる先生がいれば紹介してほしい。 		
じょうほう たす 情報があって助か ったこと(どんな じょうほう やく た 情報が役に立ちま すか?)	<ul style="list-style-type: none"> きょう 今日のフォーラムのことはチラシを見て興味があるから来た。 にほんご べんきょう にほん かた こうりゅう にほんご きょうしつ 日本語の勉強や、日本の方との交流のため、日本語ボランティア教室を 紹介してくれた。そしていろいろなボランティア活動に参加し、楽しく生 かす 活している。 らいにち ながねん せいかつ よゆう で たこくせきけんみん 来日して長年がたち、生活に余裕も出てきて、多国籍県民フォーラムのよ うなボランティア活動に参加できるようになった。 こうこうしんがく ねんきん よぼうせつしゅ じょうほう やく た 高校進学ガイダンス、年金、予防接種などの情報がとても役に立つ。 きか えいじゅう かん 帰化と永住に関して、それぞれメリットとデメリットがある。どうすれば よいか。このような情報があれば欲しい。 としょかん りょう じょうほう むりょう にゅうしゅ たす 図書館を利用して、いろいろな情報を無料で入手できて、とても助かっ た。その情報をぜひ多くの方に知らせたい。 むりょうがいにくじんそうだん がいにくじん やく た かん じょうほう 無料外国人相談は外国人にとって、とても役に立つ。それに関する情報 をどんな情報紙でも構わないが、常に載せたほうがよい。困った方がその じょうほう み そうだん い いりょう ねんきん せんもんてき かいけつ 情報を見て相談に行けば、医療・年金など専門的なことを解決してくれ るケースが多い。 きょうせいがわ しみん たい ていきょう など じょうほう し ひつよう 行政側が市民に対して提供するサービス等の情報も知らせる必要があ る。 きほんてき せいかつ かか じょうほう ほ 基本的な生活に関わっている情報が欲しい。 かいがい りゅうがく とし がっこう よ じょうほうし けいさい 海外に留学していた時、学校でいつも読んでいた情報紙に掲載されてい たことが、病気になった時、助かった。 		

- ・「困った時に、ここに連絡してください」というような情報紙があればよい。
- ・海外に住んでいた時、大連のホテルで、日本語版のパンフレットが置いてあった。いろいろな観光や食事などの情報が載せてあり、とても助かった。
- ・年末年始の公共施設の開庁時間、銀行・郵便局・病院等の営業時間はなるべく早めに流したほうがよい。
- ・ニーズに応じて、情報を作ること。
- ・役に立つ情報紙を作成するために、編集部の人員構成も大切。来日して長年になる人と、来日直後の人との考え方や年齢層によって、関心の対象が異なるので、複数の編集者がいて、それぞれの原稿を集めてから、再編集して情報紙を作成するべきだ。定期的に意見交換会も開催する。
- ・モニターから情報を聞くことが大切。そして、ネットワークを利用して、メーリングを常に利用し、お互いに情報を交換することは情報紙を作成する時大事なことだと思う。
- ・県民フォーラムの情報は、区役所でチラシを見てわかった。
- ・日本に住み慣れた外国人にとって、楽しいイベントなどのお知らせが欲しくなる。母国ではないので、同じ国、同じ立場の人が集まった所に行き、おしゃべりしたりして、ストレスの解消にもなる。

普段・地域の情報紙を読むかどうか。また、その理由。

- ・埼玉県国際交流協会が発行した『Help』は、とても良い情報紙ですが、協会と市町村役場でしか展示していない。もっとアピールして、もっと多くの方に読んでもらったほうがよい。
- ・地域で作った情報紙を読む前に、こういった情報紙があることを知らない方が多い。経費削減も踏まえて、インターネットを利用して、メールで送信したり、あるいはファックスで送信したりして、もっと多くの方に知らせたほうがよい。
- ・無料で送られた情報紙はあるが、あまり読まない。郵送料がかかるなら、自分が欲しい情報だけを探して読むほうがよいと考えている人もいる。
- ・メールを利用して情報提供を行うことを勧めたい。

普段・どこで主に必要な情報を得ているか。

- ・郵便局、スーパーマーケット、外国人がよく利用するレストランなどで配布すれば、読んでくれる確率が高いのではないかと。
- ・日本語を読める人にとっては、自力で情報収集できる。日本語が不自由な方や日本に来たばかりの方にこそ、情報紙を郵送したほうがよい。
- ・情報を常に知らせたり、発行した情報紙をもっとアピールしたりしたほうがよい。
- ・日本語教室のチラシを公的な所で配布する必要がある。

	<ul style="list-style-type: none"> ・海外に住んでいた時、日本人サークルから情報を収集していた。 ・レストランで情報を収集している。 ・情報を収集するのはよいが、その集めた情報の周知方法について、もっと工夫したほうがよいのではないか。例えば、駅、各市町村役場、市民課、外国人登録窓口、入国管理局、図書館、学校（外国人学校も含む）で配布したほうがよい。 ・初めて日本に来た人がどこで情報を得られるかということ、やはり公的な場所（学校、市町村役場、郵便局、銀行など）へ行くとよいだろう。 ・作成した情報紙を駅で配布できれば、一番効果的だと思うが、現実的に不可能である。しかし、日本人がよく利用する駅より、外国人がよく利用する場所で配布したほうがよいかもしれない。 ・インターネットを有効的に利用したほうがよい。 ・人が集まる所に情報紙を置いておけば、読む人が多い。
<p>その他</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・海外に住んでいた時、外国語が話せなくても、不自由を感じていなかった。 ・情報紙を読んだ後の感想を寄せられるところがあればよい。 ・市町村の職員たちは、市民ボランティアに対してサービス精神を向上させたほうがよい。

ちゅうごくご
中国語グループ 2

ファシリテーター	きょう ちょうぶ 姜 兆武 (ボランティア)	さんかしゃすう 参加者数	にん 9人
しよ き 書記	ひろなか こはな 廣中 小華 (ボランティア)		
サブテーマ	はな あ よう し 話し合いの要旨		
じょうほう ほ 情報が欲しかった え 得られずに困ったこと	<p>こ きょういくもんだい かん ちゅうごくう りょうしん にほんご じゅうぶん ・子どもの教育問題に関して、中国生まれの両親の日本語レベルが充分でないため、かてい こ きょういく まんぞく 家庭で子どもの教育を満足にできない。そのため、きょういくいんかい 教育委員会のきょうりよく むりょうほしゅう 協力や、無料補習などがあれば助かる。</p> <p>しんがくじょうほう きょういくせいど いりょう ほけん ぜいきん じゅうたく ほしようにん かんして、 もっとくわ しりたいたい。はじめて にほん き ともだち しんせき ひと もっと詳しく知りたい。初めて日本に来て、友達や親戚もいない人たちにとって、ほしようにん え 保証人を得ることはとてもむずか 難しいことである。ほしようにん しょうかい 保証人の紹介などがあればやく た 役に立つであろう。</p> <p>しやくしよ がいこくじんせんもん そうだんいん ・市役所には外国人専門の相談員があまりいないので、もっとふ 増やしてもらえれば助かる。</p>		
じょうほう たす 情報があって助 かったこと(どん なじょうほう やく た な情報が役に立 ちますか?)	<p>・アルバイト、やす じゅうたく しんがく ちゅうこにちじょうようひん アルバイト、安い住宅、進学、中古日用品などの情報があればやく た 役に立つ。</p> <p>・はじめて にほん き ひと けいさいめん でよゆう 初めて日本に来た人たちは、経済面で余裕がないので、せいかつ ひようなど 生活にかかる費用等 なるべくおさ 抑えるためのアドバイスや、じょうほう やく た 情報が役に立つではないか。</p>		
ふだん ちいき 普段、地域の じょうほうし 情報紙を読むか どうか。また、そ りゆう 理由	<p>・じょうほうし てもと とど 情報紙は、手元に届かないし、届いたとしてもよむ じかん 読む時間があまりない。たとえ じょうほうし 情報紙をもらったとしても、やく た じょうほう すく 役に立つ情報が少ない。また じょうほう しんせんど じゅう 情報の新鮮度も重 よう 要である。</p> <p>・ひつよう とき ひつよう じょうほう てもと 必要な時に必要な情報が手元にはないことはもんだい 問題である。にほん き 日本に来たばかりのひと はにほんご まんぞく はな 日本語も満足に話せなく、どこへい 行けば じょうほう 情報をもらえるのかわからない。た たとえば、にほんたいしつかん と じてん 日本大使館でビザを取った時点でまとめられたじょうほうし 情報紙がもらえればよ い。</p> <p>・らいにちまえ じぶん じょうほう しらべ よゆう も じゅんび 来日前に、自分で情報を調べ、余裕を持って準備しておくことがいちばんだいじ 一番大事で はないか。</p>		

<p>普段、どこで主に必要な情報を得ているか</p>	<p>・市役所の情報紙、友達、学校、スーパー、駅、市役所の市民相談、インターネットなど。一番多いのは友達。</p>
<p>読みやすい標記のしかた、言葉のつかいかた</p>	<p>・漢字と英語だけよい。ローマ字表記は日本語を読めない人にはわからない。</p>
<p>その他</p>	<p>・中国残留孤児です。自分を日本人とも中国人とも思っていない。両方を使い分けています。精神面に関して、もっとケアする必要があるのではないかと。</p>

スペイン語グループ

ファシリテーター	しまぶくろ 島袋 ハビエル (埼玉県国際交流協会国際交流員)	さんかしゃすう 参加者数	にん 7人
しょ 書 き 記	ひらい 平井 のぶかず 伸和 (ボランティア)		
サブテーマ	はな あ ようし 話し合いの要旨		
じょうほう 情報 があって助か ったこと (どんな じょうほう 情報があれば役に た 立つか)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 起業に関する規則・情報ができるだけシンプルに書かれたものがあれば便利である。法務局や自動車教習所のパンフレット、また、年金制度に関するものについても同じことがいえる。 ・ 金融・医療機関を快適に利用することができない。ATM や診察券の機械の使い方、病院内の表示についての説明を「Help」等に掲載してみてはどうか。 		
ふだん 普段、どこで主に ひつよう 必要な情報を得て いるか	<ul style="list-style-type: none"> ・ 駅、市役所、郵便局、ハローワーク、日本人の知人等 		
よ 読みやすい標記の しかた、言葉の使い 方	<ul style="list-style-type: none"> ・ 日本語・ローマ字で記し、その後各言語でその事柄についての説明が載せてあれば、非常にわかりやすい。 ・ それぞれの情報は、わかりやすく書かれていることが望ましい。もし、日本語で書かれているとしても、平易な日本語であれば理解可能な事柄もある。 		
た その他	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「市報」は家に届くものの、その内容を理解することは困難。例えば、「市報」の中に要旨を各言語に訳したものを挿んだり、「Help」や「キョウダイ」(日系ペルー人向け情報誌)の中に、「市報」に掲載されるような地域の情報を折り込むことはできないのか。 ・ 国際交流協会の事務所には、様々な有益な情報があるものの、国際交流協会の存在自体を認識している人が少ない。これらの良い情報を一人でも多くの人に届けてほしい。 ・ ハローワークでの就職相談には多くの時間を要するので、外国人窓口の担当者を増やすことはできないか。 ・ 日本で育った外国人の中には、日本語・母国語ともに理解する人が少ない。また彼らは、出稼ぎに来ている人たちの気持ち、状況を理解することが日本人よりも容易だと考えられるので、ハローワークや通訳の仕事に彼らが就けるように配慮することはできないだろうか。 		

- | | |
|--|---|
| | <ul style="list-style-type: none">• 日本の生活に溶け込むことが、日本で生活する上で大切なことなので、日本の文化、日本人の考え方を知らるための機会があればいい。 |
|--|---|

ぼるとがるこ
ポルトガル語グループ

ファシリテーター	ムラカミ ラウラ (埼玉県国際交流員)	さんかしゃすう 参加者数	8人
しよき 書記	ふじかわ まさこ 藤川 晶子 (埼玉県国際交流協会国際交流推進員)		
サブテーマ	はな あ ようし 話し合いの要旨		
じょうほう ほ 情報が欲しかった のに得られず困っ たこと	<ul style="list-style-type: none"> 外国人向けの情報紙が多くあるにも関わらずブラジル人みんなに届いていない。 		
ふだんちいき じょうほう し 普段地域の情報誌 を読むかどうか。ま た、その理由	<ul style="list-style-type: none"> 川口市で発行している情報誌Cupola は郵便で外国人登録者のところに送られてくるのでいつも読んでいます。 外国人にとって日本は異文化、習慣も違うので日本の生活習慣、道徳的なことから習う必要がある。 地域の様子がよくわかる情報紙があるといい。 ブラジル人がいつも行く場所においてほしい。 職業安定所などではすぐになくなる。 市の広報と一緒に配ってほしい。 		
ふだん おも 普段、どこで主に 必要な情報を得て いるか。	<ul style="list-style-type: none"> ブラジル人向けのポルトガル語の新聞が発行されているため、多くのブラジル人はそこから情報を得ることができる。インターネットや友人からも得る。 地域の情報紙は、外国人がいつも行く所に置くと利用者に届きやすい。 必要な情報はインターネットや友人を通して得ることが多い。 		
よ ひょうき 読みやすい表記の しかた、言葉の使い かた 方。	<ul style="list-style-type: none"> 外国人向けの日本語は、わかりやすく、やさしい日本語にしてほしい。 場所や建物などの名前はそのまま、読むとおりにかいたほうがわかりやすい。 近年、街にローマ字表記が増えてきたので外国人にはわかりやすくなった。 日本語は、ローマ字表記にしても同音意義語があるので外国人には難しい。 		
じょうほう し ていきよう 情報紙を提供する がわ 側として(さいたま 市、草加市、西東京 市の日本人ポラン ティア)	<ul style="list-style-type: none"> 外国人向けの情報紙を提供したくてもどこへ持って行けばよいかわからない。 ボランティアが外国人に情報を提供しようとして力を尽くしても、市役所などは相手にしてくれない。 外国人向け情報を市町村広報の最後のページに載せてほしい。 情報紙発行のために市からの援助がないので自分たちで工夫している。 自分たちでも外国人向け情報紙を作ろうと、全国20数カ所から情報紙を取り寄せて参考にした。共通の内容が多く、入国管理に関する情報についてはパタ 		

	<p>ーン化^かしている。市^し町^{ちやう}村^{そん}広^{こウ}報^{ほう}の原^{げん}本^{ほん}をもらって必要^{ひつよう}な所^{ところ}を翻^{ほん}訳^{やく}している。都^と内^{ない}では全^{ぜん}区^くに配^{くば}っている。</p>
<p>その他^た</p>	<p>・友人^{ゆうじん}や自^じ分^{ぶん}の国^{くに}の人^{ひと}と話^{はな}すことがス^{かい}ト^{しやう}レ^{ほう}ス解^{かい}消^{しょう}法^{ほう}。母^ぼ国^{こく}語^ごで遠^{えん}慮^{りよ}しないでたくさん話^{はな}す。</p>

たこくせきけんみん
多国籍県民フォーラム2004

～情報・Information・情報～ アンケート結果

さんかしゃすう めい
参加者数 60名

かいとうしゃすう めい かいとうりつ
回答者数 34名(回答率 57%)

1 「多国籍県民フォーラム2004」をどのようにして知りましたか？

- (1)「彩の国だより」(県の広報紙)
- (2)市町村の広報紙
- (3)ちらし
- (4)友だち、知り合いから聞いた
- (5)その他

- ・インフォメーション草加
- ・Eメールで(昨年の参加者)
- ・11月の法律相談会で

かいとうすう にん 回答数(人)	わりあい 割合(%)
5	14.7
1	3
5	14.7
15	44
6	17.6
むかいとう (無回答)	2
	6

2 このフォーラムに参加しての感想は？

こうえん
講演について

- (1)とてもよかった
- (2)よかった
- (3)あまりよくなかった
- (4)よくなかった

かいとうすう にん 回答数(人)	わりあい 割合(%)
11	32
16	47
2	6
0	0
むかいとう (無回答)	5
	15

りゆう
(理由)

- ・他の人の経験談を聞くのは勉強になる。
- ・講演者の意見がとてもおもしろかった。
- ・とてもよかったが、もう少しまとまっているとよかった。
- ・本音が聞けた。
- ・テーマはよかったが、もう少し一般的な話が聞きたかった。
- ・情報紙作りの大変さがよくわかった。
- ・翻訳について考えるよい機会になった。
- ・日常に沿った意見に親しみが持てた。
- ・初めて日本に来た外国人の気持ちを表してくれた。
- ・改めて在日外国人の考えや、問題を抱えていることがわかった。

べつ はな あ
グループ別の話し合いについて

- (1)とてもよかった
- (2)よかった
- (3)あまりよくなかった
- (4)よくなかった

かいとうすう にん 回答数(人)	わりあい 割合(%)
22	65
9	26
0	0
0	0
むかいとう (無回答)	3
	9

りゆう
(理由)

- ・自分の言いたいことを自由に話すことができた。
- ・このような機会はありませんでしたのでとても良かったです。テーマもとても良かったです。
- ・トピックがよかった。海外在住経験のある日本人の話も興味深かった。

<p>・母国語で話ができすぎてうれしい。同じ国の人が日本に住んで、どんなことを考えているかわかってうれしい。</p>
<p>・日ごろの疑問を話し合うことができた。他の国の外国人の悩みを聞くことができた。</p>
<p>・もっと発言したい、という気持ちになりました。</p>
<p>・参加者間でよいふれあいがあった。</p>
<p>・いろいろな視点で話が聞けた。</p>
<p>・参加者でいろいろな経験を共有することで、知識やアイデアを得た。</p>
<p>・言葉が通じないと生活するうえでとても不便なことがわかった。外国人への情報が少なすぎる。</p>
<p>・具体的に困ったことなどの話が出て、国によって国民性の違いがあることに改めて気づかされた。ボランティアの際など理解が必要だと感じた。</p>
<p>良かった。</p>
<p>・実体験に基づいた生の声を聞いて参考になりました。</p>

<p>3 本日のフォーラムに参加して感じたことなど、自由にご記入ください。</p>
<p>・参加者の国籍はいろいろですが、必要としていることはみんな一緒。</p>
<p>・いろいろなテーマで話し合った。自分の母国語で話すことができた。たくさんの意見や質問など、お互いに話し合えた。</p>
<p>・このフォーラムの目的はとてもよいことなので、今回出た意見をぜひ実行してほしい。ぜひ、また参加したい。</p>
<p>・主催者の尽力に感謝。もっとフォーラムをやっていたら、外国人の生活が送り返りやすくなる。</p>
<p>・外国人に対する日本における生活の案内書(手帳式)のものがほしいという意見があった。</p>
<p>・外国人によっていろいろな問題があることがわかった。特に、保険や税金等、複雑な書類を要する事柄が大変であることがわかった。行政がこれらの問題を解決できるよう、外国人をサポートすることが必要だと思った。</p>
<p>・日本に来たばかりのことを思い出した。</p>
<p>・もう少し参加者が多いと思う。</p>
<p>・今回出た外国人の要望をまとめ、要望書として関係団体に送付したほうが良いと思う。</p>
<p>・情報交換の場になり、有益だった。</p>
<p>・とても有益でよかった。</p>
<p>・文化的な違いからくる苦労話を聞くことができた。また、日本語の形式的な表現に戸惑っている様子もわかった。身近なところからボランティアができれば良いと強く感じた。</p>
<p>・子どもの予防接種や学校のことなどの情報が欲しい等のことは日本人も同じと感じた。インターネットを活用されている方が多い様子に感心したが、インターネットを使えない方はどのように情報を得ているのだろうか。</p>
<p>・初めてこういう会に参加した。これほど多くの外国人の人々が近くに生活していることにすら驚いたが、これからは図書館等のボランティア活動などに参加する機会をつくりたいと思った。</p>
<p>・もっと外国人と日本人のコミュニケーションが進むように機会をつくって欲しい。</p>
<p>・いろいろな体験を聞いてくれて、本当に役に立つ。</p>
<p>・意見を交換するよいチャンスです。また、外国人のための情報提供に対して役に立つと思う。</p>
<p>・主催者はタイムスケジュールをきちんと守ったほうが良い。</p>
<p>・もっとこのような情報が簡単に手に入れば良いのではと感じた。</p>
<p>・自分が海外にいたときに困ったことと同じで在日外国人も困っていることがわかった。日本は情報が少なすぎる。郵便局、図書館、公民館、駅等で市町村の掲示板を設け、情報提供ができればいいと思う。</p>
<p>・今日は知らなかったことをたくさん知ることができた。今後、今日知ったことを活用する機会があると思う。</p>

今日のディスカッションは日本と外国の文化の相違について知ることのできる意義のあるものだった。また、外国人がどのような問題を抱えているかを知ることができた。

問題の数の多さに驚いた。

知らないことを知ることができて生活に役立つ。今後もこのような機会があったら参加したい。

4 今後、意見を出すなど、外国人向け情報紙作りに協力してみたいと思いましたが？

(1) 思った

(2) 思わなかった

(3) すでに活動している

回答数(人)	割合(%)
23	67.6
3	9
2	5.8
むかいとう (無回答)	6 17.6

(1)と解答した中でお名前、御連絡先を書いてくださった方

回答数(人)	割合(%)
26	76.5

とうじつじゃしん
~当日写真~



うけつけ ようす
受付の様子



こうえん
講演をしてくださったえんどうびれい たいわんしゅっしん
(財)横浜市国際交流協会(かい)で活躍(かつやく)されています。



にほんご
日本語グループ



えいご
英語グループ



中国語グループ 1



中国語グループ 2



スペイン語グループ



ポルトガル語グループ



各グループが話し合った内容を最後に参加者で共有しま

たこくせきけんみん うんえい
 ~ 多国籍県民フォーラム運営スタッフ ~

し めい 氏 名	びこう 備考
まーら だつた Mala Dutta	さいたま市国際交流員 さいたま市国際交流員
すてふぁにー しゅあけんぶろく Stephanie Schuckenbrock	かわぐち市国際交流員 川口市国際交流員
しゅう ぎょうしん 周 暁莘	あげお市国際交流員 上尾市国際交流員
むらかみ らうら Murakami Laura	さいたまけん国際交流員 埼玉県国際交流員
しでる ひが Cydelle Higa	さいたまけん国際交流員 埼玉県国際交流員
こばやし らん 小林 蘭	ボランティア
きょう ちょうぶ 姜 兆武	ボランティア
ひろなか こはな 廣中 小華	ボランティア
ひらい のぶかず 平井 伸和	ボランティア
だいごう かずみ 大郷 エレーナ 和美	ボランティア
おじまさわ こ 尾嶋佐和子	さいたまけん国際交流協会国際交流推進員 埼玉県国際交流協会国際交流推進員
しまぶくろ はびえる 島袋 Javier	さいたまけん国際交流協会国際交流推進員 埼玉県国際交流協会国際交流推進員
ふじかわ まさこ 藤川 晶子	さいたまけん国際交流協会国際交流推進員 埼玉県国際交流協会国際交流推進員
ぞえ かるばーとそん Zoe Culbertson	さいたまけん国際交流協会国際交流推進員 埼玉県国際交流協会国際交流推進員
えはら みえ 荏原 美恵	さいたまけん国際交流協会 埼玉県国際交流協会
ふくだ ともこ 福田 智子	さいたまけん国際交流協会 埼玉県国際交流協会
まゆずみ あきこ 黛 亜希子	さいたまけん国際交流協会 埼玉県国際交流協会

ざいだんほうじんさいたまけんこくさいこうりゅうきょうかい
【財団法人埼玉県国際交流協会】

〒330-0074 さいたま市浦和区北浦和5-6-5

浦和地方庁舎3階

TEL: 048-833-2992

FAX: 048-833-3291

Email: sia@saitama-j.or.jp

URL: http://www.saitama-j.or.jp